



真嘉比小だより



令和6年8月26日発行
那覇市立真嘉比小学校
片平 雅明

No.1

チャレンジ!

生活目標 (9月)
進んであいさつをしましょう。
生活リズムを整えましょう。
保健目標 (9月)
規則正しい生活をしよう。

合唱団の活躍

今年度、結成した真嘉比小合唱団が7月の音楽朝会、おもろまち駅ミニコン、豊年祭のオープニングでも素晴らしい歌声を披露していました。そして、8月6日に行われた、NHK全国学校音楽コンクール 沖縄県コンクールにおいて、見事銅賞に輝きました。おめでとうございます。



数学は生活に役立っている

7月下旬、ある研究会の九州(大分)大会に参加した。全体講演「渋滞のサイエンスと実践(渋滞学)」を拝聴した。講師は東京大学の西成活裕教授だった。いろいろな自治体や企業、またイスラム教の巡礼地メッカ(マッカ)などの渋滞に関する共同で研究したり、



アドバイスしたりしている。以前TVで教授の渋滞にならない方法(車間距離をとる)を聞き実践すると、赤信号の直前まで停車せず進むことができた。将来、自動運転になれば渋滞は起こらないそう。これらは、数学で渋滞を立証している。

渋滞学は数学だけではなく、「認知心理学」も必要だそう。 「一つのことしか知らないのは、何も知らないのと同じ」で「幅広い分野と深い専門性」を極めるのが重要だと西成教授はおっしゃっていた。

8・9月の行事予定

8月26日(月)	1学期後半開始
27日(火)	教育実習～9/25
29日(木)	買い物ゲーム(4年)
9月2日(月)	読書月間～30日 授業参観日 教育実習～9/24
3日(火)	児童朝会(図書委員会)
4日(水)	小中一貫合同授業研究会(真嘉比) 【4-2、5年以外5校時日課】
9日(月)	家庭学習レベルアップ旬間～20日
10日(火)	児童朝会(放送委員会)
12日(木)	校内研研究授業(2年3組) 【授業クラス以外4校時日課】
16日(月)	敬老の日(公休日)
19日(木)	就学時検診【4校時日課(1・2年)】
22日(日)	秋分の日(公休日) PTAレク(4年)
23日(月)	振替休日
24日(火)	音楽朝会
29日(日)	PTA作業(2・4・6年)

豊年祭 8月4日(日)に真嘉比公民館主催の豊年祭がありました。5年生は総合の授業でコメ作り体験を行っており、午前中は網編み体験も行いました。また、祭りでは勇壮な旗頭演舞もあり、最後は東西に分かれての綱引き、今年は引き分けでした。





真嘉比小だより



令和6年8月26日発行
那覇市立真嘉比小学校
片平 雅明

No.2

チャレンジ!

生活目標 (9月)
進んであいさつをしましょう。
生活リズムを整えましょう。
保健目標 (9月)
規則正しい生活をしよう。

AI登場で、まさに今そこにある危機

加速度的に、AIが人間の仕事を奪っていて、5年後には2割の職業が消えているかもしれない。しかも、なくなる仕事は、ホワイトカラーに集中する。生成AIは、単純に言われたことをやるのではなく、自ら計画し、さまざまなコンテンツを生み出すことができる。つまり、「自分の仕事は『考えること』だからロボットには代替できない」と思っていた人たちの仕事は、優秀な生成AIに簡単にとって代わられる。弁護士や税理士、銀行や保険などの金融関係、企業で人事や経理監査に従事している人たち。また、医師ですら例外ではない。VUCAの時代（変化が目まぐるしく、未来の予測が困難で、「正解」の見えない時代）、「だからこそ、変化に負けない確実な職業を」などと考えていると、これからの時代、リスク以外のなにものでもない。

また、学歴も社名も意味のない時代が、すぐそこにきている。学生が大学名にも会社名にも頓着せず、就職しても3年で辞めるくらいのつもりであることに、企業も気づき始めている。だから、企業も学歴にこだわらなくなるだろう。実際、これからは学歴より職歴が問われるようになることが予想される。最後までこだわっているのは、古い価値観の大人ばかりということになる。

すでにAIは、人々が考えている以上に深く、私たちの生活に入り込んできている。AIとはうまく付き合わないといけない。抵抗している時間があつたら、いち早くAIの使い方をマスターし、AIに淘汰される側ではなく、AIを使える側に入ることです。そして、AIが苦手なことを子どもたちの身につけてもらいたいと思う。

出典： 富永雄輔「AIに潰されない『頭のいい子』の育て方」 幻冬舎新書 2024

以下は、「AIに潰されない『頭のいい子』の育て方」のChatGPTからの回答である。

- 1. 創造力と独創性の強化:**
 - AIは既存の情報やデータを分析する能力に優れていますが、独自の発想や創造的な思考には限界があります。子どもたちに独創的な思考を促し、クリエイティブな問題解決能力を育てることが重要です。
- 2. 共感力やコミュニケーション能力の育成:**
 - AIには感情がなく、人間同士の共感や繊細なコミュニケーションには限界があります。人とのつながりや協力を大切にできる力を養うことが大切です。
- 3. 批判的思考の促進:**
 - 情報の真偽を見極め、論理的に考える力がこれまで以上に求められます。AIが提供する情報を鵜呑みにせず、自分で考える習慣をつけることが重要です。
- 4. 学習の習慣と自己管理能力:**
 - 自ら学び続ける力と、変化に適応する柔軟性が求められます。AI時代においても、学び続ける姿勢が不可欠です。
- 5. 倫理観と価値観の確立:**
 - AIの利用においても、倫理的な判断や価値観の基準が必要です。子どもたちに健全な倫理観と強い価値観を持たせる教育が求められます。

これらの点を意識して育てることで、子どもたちはAI時代においても強く、賢く生き抜く力を身につけることができます。

地域、家庭、学校が連携して、このような子どもたちを育てていきましょう。

ラジオ体操 7月22～26日、8月19～23日にラジオ体操が本校運動場で行われました。2日は雨天で中止となりましたが、8日間延べ、705人も園児・児童が参加しました。まかびサポート部長の上原さんを中心にお世話くださった保護者の皆様、ありがとうございました。

